

○ 出雲市は、市内佐田地域の農業集落排水施設等の下水汚泥を活用した循環農業を推進し、有限会社エコプラント佐田と連携して汚泥発酵肥料「出雲佐田ゆうき」を製造・販売。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称 ■取組の経緯・内容・成果（見込み）

- ・下水汚泥
・もみ殻
- ・種類：汚泥発酵肥料
・肥料名：出雲佐田ゆうき

取組の経緯
・島根県出雲市佐田地域の農業集落排水施設は昭和56年から事業が始まり、平成13年度までに8地区の整備を行ってきた。平成16年度に汚泥処分の経費削減と汚泥の再資源化を図り資源リサイクルを行うために、資源循環施設を整備した。

■作物

- ・水稲
- ・野菜
- ・果樹
- ・花き

■主成分の含有量（%）、特徴等

N	P	K	C/N比
1.8	1.4	0.3	11

農業集落排水処理施設や合併浄化槽から発生する下水汚泥ともみ殻を混ぜ合わせ発酵させた、自然にやさしい汚泥肥料。

取組の内容
・島根県佐田地域内の農業集落排水処理センターや出雲市浄化槽施設の下水汚泥を移動式脱水車により資源循環施設へ移送。施設内で肥料化した製品を水分調整材として脱水汚泥と7対3で混合し、60℃の温風を送りながら発酵させて製造。
・令和2年度は農業集落排水汚泥資源1,108m³の肥料化を行い、地域内の水稲や野菜の生産に利用されている。

成果（見込み）
・汚泥肥料の利用者からは、「イチゴ、白菜の出来が非常によい」、「土が軟らかくなりよい土がつかれる」など、概ね好評を得ている。

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■今後の課題・取組

- ・汚泥発酵肥料「出雲佐田ゆうき」の販売促進に向け、一般個人農家向けに出雲市ホームページや宣伝チラシで広報を行い、104円/10kg（税込）で販売を行っている。毎年度、好評をいただいております、すぐに完売している。（年間3,000袋）
- ・原料である、もみ殻の確保が難しくなっている。
- ・移動式脱水車等機器の老朽化。

